

# 九州工業大学研究報告投稿要領

「九州工業大学研究報告数理編」投稿の手引

- 附 表：
- 1 校正記号と校正例
  - 2 研究報告投稿原稿送付・受領票

2019年 改訂版

九州工業大学大学院工学研究院

## 九州工業大学研究報告投稿要領

1. 九州工業大学研究報告は、数理編(欧文)とする。この要領は、研究報告への投稿原稿執筆に関する共通事項を規定する。
2. 研究報告に投稿する者は、この投稿要領のほか、別に定める『投稿の手引』によって執筆・投稿しなければならない。これに従わない原稿は、工学研究院学術情報委員会（以下「学術情報委員会」という。）が書き換えを求めることがある。
3. ①投稿者は、工学研究院又は工学部（寄附講座含む）所属の専任教職員及び大学院生（以下「工学研究院教員等」という。）を原則とする。  
②共同研究による共著投稿の場合は、共著者のうち少なくとも1名は工学研究院教員等でなければならない。  
③工学研究院教員等以外の投稿については、工学研究院又は工学部（寄附講座含む）専属の専任教員の紹介を必要とし、論文掲載の可否は学術情報委員会で検討する。
4. 投稿は、学術研究に関する未発表のものを原則とする。ただし、学会等で口頭発表を行ったもの、又は、すでに邦文で発表したものを欧文で発表することは差し支えない。
5. 投稿論文の内容は、投稿者が責任をもたなければならない。
6. 九州工業大学は、掲載論文を全文電子化し「九州工業大学学術機関リポジトリ (Kyutacar)」を通じてコンピュータ・ネットワーク上に公開することができるものとする。ただし、著者が、別記様式により掲載論文の電子化による公開に反対の意思を示したときは、この限りではない。
7. 原稿の受付年月日は、学術情報委員会が受付けた日とする。受付けた論文は、特別の事由のある場合のほか、修正及び加除を認めない。
8. 研究報告に掲載された論文の別刷の費用は、投稿者の負担とする。
9. 研究報告の投稿締切日及び発行日は、それぞれ毎年11月末日及び翌年3月末日とする。
10. 投稿件数が多い場合は、学術情報委員会において調整することがある。
11. 掲載は、受付順位を優先する。ただし、内容の関連において一部変更することがある。
12. 上記第3項第3号の投稿者の投稿料は20,000円とし、紹介者の責任において負担するものとする。
13. 投稿者以外に著作権者が存在する場合は、投稿者はあらかじめ他の著作権者から掲載等についての許諾を得ておくこと。
14. 文献及び写真には著作権があるので、これらを引用する場合は、出版社と原著者の了解を取り、著者の責任で使用すると共に、出典を明記すること。  
(※トラブルが生じないよう取り扱いには、十分注意すること。)

# 九州工業大学研究報告投稿の手引

## 目 次

<b>1 一般事項</b> .....	3
1. 1 目的	
1. 2 論文の掲載順序	
1. 3 原稿の構成	
1. 4 原稿作成及び論文の長さ	
1. 5 校正	
1. 6 その他	
<b>2 投稿要領（数理編）</b> .....	4
2. 1 基本事項	
2. 1. 1 体裁	
2. 1. 2 校正	
<b>3 附 表</b> .....	5
3. 1 校正記号と校正例	
3. 2 研究報告投稿原稿（送付・受領）票	

## 1 一般事項

### 1.1 目的

この手引は、「九州工業大学研究報告投稿要領」（以下「投稿要領」という。）第2項に定める研究報告数理編への投稿並びに原稿執筆の要領を定める。投稿者は、「投稿要領」及びこの「手引」に従って執筆・投稿しなければならない。

### 1.2 論文の掲載順序

研究報告に掲載する論文の順序は、原稿の受付順位とする。ただし、内容の関連により一部変更もありうる。

### 1.3 原稿の構成

論文原稿は、次の順序等により提出すること。

- (a) 投稿原稿送付・受領票（2枚）
- (b) 表紙（標題・著者名等掲載）
- (c) 要旨
- (d) 本文
- (e) 図・写真の説明
- (f) 図
- (g) 写真
- (h) 表

なお、原稿は投稿原稿送付票を貼付した封筒に入れること。

### 1.4 原稿作成及び論文の長さ

投稿者は、2. 1. 1で定められたページ数以内に収まるようパソコン又はワープロで原稿を作成し、電子媒体及び印刷原稿を1部提出すること。

なお、刷り上がりページ数が規定ページ数を超える場合は、越える部分について応分の負担をしてもらうことがある。

### 1.5 校正

校正は、著者が行う。校正は3回以内とし、グラ刷受領後7日以内に終えて返却すること。

### 1.6 その他

「投稿要領」及び「手引」に規定しない事項については、投稿者の所属する学会の投稿手引を準用するものとする。

## 2 投稿要領 (数理編)

### 2. 1 基本事項

原稿作成上の要点を以下に記す。ここに規定しない事項については、日本数学会英文誌Journal of the Mathematical Society of Japanの投稿手引に準ずる。原稿は、英語、仏語又は独語で書き、著者は原稿の完全な副本を保有しておく。

#### 2. 1. 1 体 裁

- (a) 論文は、章(CHAPTER)、節、定義(DEFINITION)、定理(THEOREM)、補助定理(LEMMA)、系(COROLLARY)、例、注意などに適当な番号や標題をつけて系統だったものにすること。参考文献は、体裁をととのえ(形式は2. 1. 1 (C)を参照)、文末にひとまとめに記すこと。
- (b) 原稿は、A4版(横:約210mm、縦:約297mm)の用紙を用い、パソコン又はワードプロセッサで作成すること。書式は、2段送りで、必ず上下左右に約3cmの余白を残すこと。
- (c) 文献の形式の例示

References (あるいはBibliography)

[1] R.R.Roe, Canonical systems,Amer.J.Math.,60 (1938) ,1042-1100.

[2] R.R.Roe, An elementary solution of the fundamental problem of mathematics,J.of Metamath.,17 (1939) ,1-100

[3] D.H.Parsons, The extensiens of Parboux's method, Ganthier-Villars, Paris, 1960.

本文中では、これをRoe [2]、Parsons [3]、あるいは [2]、[3] のように引用する。

- (d) 参考文献(ReferencesあるいはBibliography)は、一論文中通し番号とし [1]、[2]、…のような番号を付すこと。引用論文については、掲載雑誌の巻、年号だけでなく必ず頁まで引用すること。単行書の場合は、著者、書名、発行所、発行地(都市名)及び年の順とすること。
- (e) 論文の表題は、全部大文字とし、節の題は最初の文字のみ大文字とし、両方ともゴチックを用い、行の中央におく。THEOREM, LEMMA及びPROOFは、ゴチックとせず、小キャピタル THEOREM,LEMMA及びPROOFを用いる。
- (f) 脚注・注を用いる場合は、(1)、(2) …のような番号を付して文中の語の右肩につけること。なるべく脚注は用いず、注(Notes)として文末にひとまとめにすること。注と脚注の両方は用いず、いずれか一方にする。なお、脚註には小文字を用いるので数式などは入れないこと。
- (g) 論文の長さ  
論文の長さは、原則として各論文30ページ以内とする。

#### 2. 1. 2 校 正

校正の際には、内容の添削、変更をできるだけ避けること。

### 3 附 表

#### 3. 1 校正記号と校正例 (JIS規格番号 : Z8208)

「日本工業標準調査会：データベース検索-JIS検索」により閲覧

<http://www.jisc.go.jp/app/jis/general/GnrJISSearch.html>

#### 3. 2 研究報告投稿原稿 (送付・受領) 票

この手引の中で、標題・氏名及びその他の書き方を示した例は、すべて著者の了解を得て掲載した。

改訂 平成6年12月26日

工学編のサイズをB5判からA4判に改めた。

改訂 平成8年7月30日

人文・社会語学編の投稿論文の用語を、「和文、英文のいずれでもよい」を「和文、外国文のいずれでもよい」に改めた。

改訂 平成9年7月2日

人文・社会語学編の発行部数を400部から450部に改めた。

平成9年度から自然科学編について次の通り改めた。

ISSN 0454-8221 → 1343-8670

英文誌名 BULLETIN OF THE KYUSHU INSTITUTE OF TECHNOLOGY

MATHEMATICS AND NATURAL SCIENCE

→

BULLETIN OF THE KYUSHU INSTITUTE OF TECHNOLOGY

PURE AND APPLIED MATHEMATICS

改訂 平成11年1月18日

1. 4 原稿の長さに、次のなお書を加え、平成10年度紀要から適用することとした。  
なお、刷り上がりページ数が規定ページ数を超える場合は、超える部分について次により超過掲載料を徴収する。

工学編 10,000円/ページ

人文・社会科学編 3,000円/ページ

数学編 30,000円/ページ

改訂 平成13年9月28日

・原稿用紙での投稿からパソコン又はワープロによる投稿に改訂し、それに伴う所要の改訂を行った。

・投稿要領第3項の投稿者の資格等について改訂を行った。

・投稿要領第12項の工学部以外の投稿者の投稿料について改訂を行った。

・自然科学編の名称を数理編に変更した。

・1. 4論文の長さのうち、超過掲載料の取り扱いについて改訂を行った。

・自然科学編、人文・社会科学編について改訂を行った。

- 改訂 平成17年10月5日
- ・工学編の廃止を行った。
- 改訂 平成19年12月27日
- ・発行部数の項目を削除した。
- 改訂 平成20年3月25日
- ・学部、大学院の改組及び委員会の統廃合に伴い、本要領中の組織名称を変更した。
- 改訂 平成20年4月1日
- ・改組により、発行部署が工学部から大学院工学研究院となった。
- 改訂 平成20年11月25日
- ・掲載論文の電子化及び公開並びに他の著作権者からの許諾について追加し、平成21年度研究報告から適用することとした。
- 改訂 平成22年4月1日
- ・委員会の名称変更により、本要領中の組織名称を変更した。
- 改訂 平成28年6月1日
- ・組織の変更により、本要領中の人文・社会科学編の項目を削除した。
  - ・投稿の手引き1.4について改訂を行った。
- 改訂 平成29年9月11日
- ・人文・社会科学編の終刊により、本要領、手引きともに条文整理をした。
  - ・附表3.1.に「校正記号と校正例」(JIS Z-8208)を閲覧できるwebsiteのURLを追記した。
- 改訂 令和元年9月11日
- ・改元に伴い、投稿原稿票及び論文除外申請書の元号を削除した。